



みんなの力で成功させよう!

「美ら島沖縄総体2010」開催に向けて

七月二十八日(水)に平成二十二年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が沖縄県で開催されます。全国一巡の最後となる本大会には県外から選手・監督等、約三万六千人が集い、県内各地で二十八競技の熱戦が繰り広げられます。



電光掲示板にスイッチを入れる仲里県実行委員会副会長ら



大会開催用のPRチラシ

大会本番へ残り二百日切る

「美ら島沖縄総体2010」開催200日前カウントダウンボード点灯式

「美ら島沖縄総体2010」開催200日前にあたる一月九日に那覇市パレットくもじイベント広場において、大会開催をPRし、大会の成功に向けた気運の高揚を図る目的で、カウントダウンボードの点灯式を行いました。

点灯式当日は、実行委員会関係者や総合開会式で合唱やダンスを披露する高校生らが参加しました。

点灯式で大会実行委員会会長の仲井眞知事の代理で出席した大会実行委員会副会長の仲里副知事は「地元選手の応援だけでなく、全国から訪れる参加者や関係者を温かくもてなし、交流を深め、沖縄の自



決意宣言する山本浩太君

然・歴史・文化を全国に発信していただきたい」とあいさつしました。高校生一人一役活動生徒実行委員会の平良唯(名護高二)委員長は「あと二百日もあると思うのではなく、あと二百日しかないんだと思う気持ちで、沖縄総体に向けて取り組んでいきたい」と決意を述べました。

また選手として本大会への出場をめざす山本浩太さん(中部農林高二)は、「二日一日を大事にして、最高の舞台で最高の結果を残せるように努力する」と力強く宣言しました。

式典会場周辺では、高校生一人一役活動生徒実行委員会の皆さんが、通行人にチラシとポケットティッシュを配布するなどして、大会開催をPRしました。

気持ちを一つに 第二回「美ら島沖縄総体2010」バンミカセ大会

一月十四日(木)に那覇市民体育館で「美ら島沖縄総体2010」大会への出場をめざす選手や、高校生一人一役活動を進めている県内各地の高校生が一堂に会し、大会開催のアピールや大会の成功に向けて機運を盛り上げていく目的で、第二回「美ら島沖縄総体2010」バンミカセ大会を開催しました。

当日は、高校生一人一役活動生徒実行委員会が進行を担当し、マーチング、郷土芸能・空手道の



昨年の近畿まほろば総体で入場行進する県選手団



郷土芸能アトラクション

アトラクション、競技紹介など内容盛りだくさんで、二千人を超える来場者を大いに盛り上げました。

また、この日のために来県した奈良県立高田高等学校の堺沙友里さん(三年)ほか三人から南部農林高校の照喜名有介さんらへ「2009近畿まほろば総体」で会場を彩った「友情の花」の種が伝達されました。

「友情の花」とは、一九七七年の岡山大会で花を通じて心の交流が図れることを願った地元高校生が、各会場をサルビアとマリーゴールドで飾り、大会終了後に種を採取して次年度開催県に贈ったことから始まったもので、岡山大



「友情の花」の種を伝達する奈良県高校生

会以来、三十三年続いています。

高校生一人一役活動生徒実行委員会副会長の上門幹弥(貝志川高校二年)さんは「大会成功には高校生全員の力を合わせる事が大切だ。私たちにしかできないすばらしい大会にしよう」と来場した高校生へ呼びかけました。

総合開会式式典放送アナウンサー委嘱式

総合開会式で式典放送アナウンサーを務める高校生は、平成二十一年六月の選考会で百六十人の応募者の中から選ばれました。

選ばれたのは平良悠里さん(八重山高)、玉那覇晟仁さん(沖縄尚学高)、知花優さん(読谷高)、津波古萌さん(那覇西高)、名嘉眞彩さん(普天間高)、



仲里県実行委員会副会長らと8人の式典放送アナウンサー

お問い合わせ 全国高校総体推進課 TEL: 098-866-2713 FAX: 098-866-2721